



ペットボトルのキャップを1000個を集めて1000個置きたいキャンペーン



# エコワンコイン基金

日本ビーチ文化振興協会 JBV 日本ビーチバレー連盟

日本のビーチはもっともっと使えます。  
ペットボトルのキャップは  
もっともっと活かします。

私たちの住んでいる日本列島の海岸の長さは、約35000kmあります。ちなみにアメリカは約20000km、フランスは約3400kmです。

国民一人当たりになると約27cmでアメリカやフランスの4倍近い海辺を日本人は持っていることとなります。この大切な資源を私たちは最も意識して多に活用して幸せな環境にしたい、そう願ってこの運動を立ち上げました。

日かげや座るところのないビーチ...

憩いの場所が少ないな。

ベンチがあつたらゆっくりお話できるな。

このビーチで最も多く出るゴミがペットボトル。そして、キャップ(ふた)の利用がまだまだされていません。でも、このキャップを活かして素晴らしい素材に変身させることができ、多に活用することができます。まだまだ活用しきれていない日本のビーチとペットボトルのキャップたち、このふたつを仲良く活用することで、島国日本をもっと過ごしやすい環境を造れるのです。

ビーチはペットボトルのゴミが多いな。

たくさんのキャップを再加工して何か造れるかな。

雨風に強い素材でベンチが造れるかな。

どうしたらキャップがエコベンチに変身するのかな。

海辺で拾った物や、家庭でいらなくなったペットボトルのキャップたち。このキャップを回収した物を資源として再加工します。

この素材を組み立てて雨風に強いベンチを造ることができます。

ペットボトルのキャップを回収



エコキャップ再加工業者へ

ベンチ制作



地域へ還元

再加工するにはまだまだ費用がかかります。

現状、日本でのリサイクル率は非常に低く、一般廃棄物では再利用(マテリアルリサイクル)率は1%程度で、後は焼却、埋立て処分されています。このような状況から加工することにも費用がかかります。

この費用を皆さまのご協力によって少しずつ補っていききたい、そのように思い基金をしています。

環境に優しく幸せになる、この活動に是非ご協力をお願いいたします。

海辺を守ろう! 運動 主宰

川合俊一  
日本ビーチバレー連盟会長



瀬戸山正二  
日本ビーチ文化振興協会理事長



ワンコイン



エコベンチに再加工。  
もれなく  
テトラストラップを  
プレゼント。

ペットボトルの  
キャップ  
13600個



1台の  
エコベンチに  
変身



海辺を守ろう! 運動

<http://www.jbeach.jp/umibewomamoro/>

事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1-1-7リバーサイド茅場町3F  
日本ビーチ文化振興協会内  
TEL.03-3552-1171 FAX.03-3552-1220 info@jbeach.jp

※エコベンチはポリプロピレン素材です。  
合成樹脂のひとつ、熱可塑性で軽く、丈夫で耐熱性、耐薬品性に優れている。